

# 品川区子ども・子育て計画

## 実績資料

品川区次世代育成支援対策推進行動計画  
品川区子ども・子育て支援事業計画

平成 28 年 6 月

品 川 区



## 第1章 計画策定の概要

品川区子ども・子育て計画 P.1～2 参照

## 第2章 計画の基本的な考え方

品川区子ども・子育て計画 P.3～4 参照

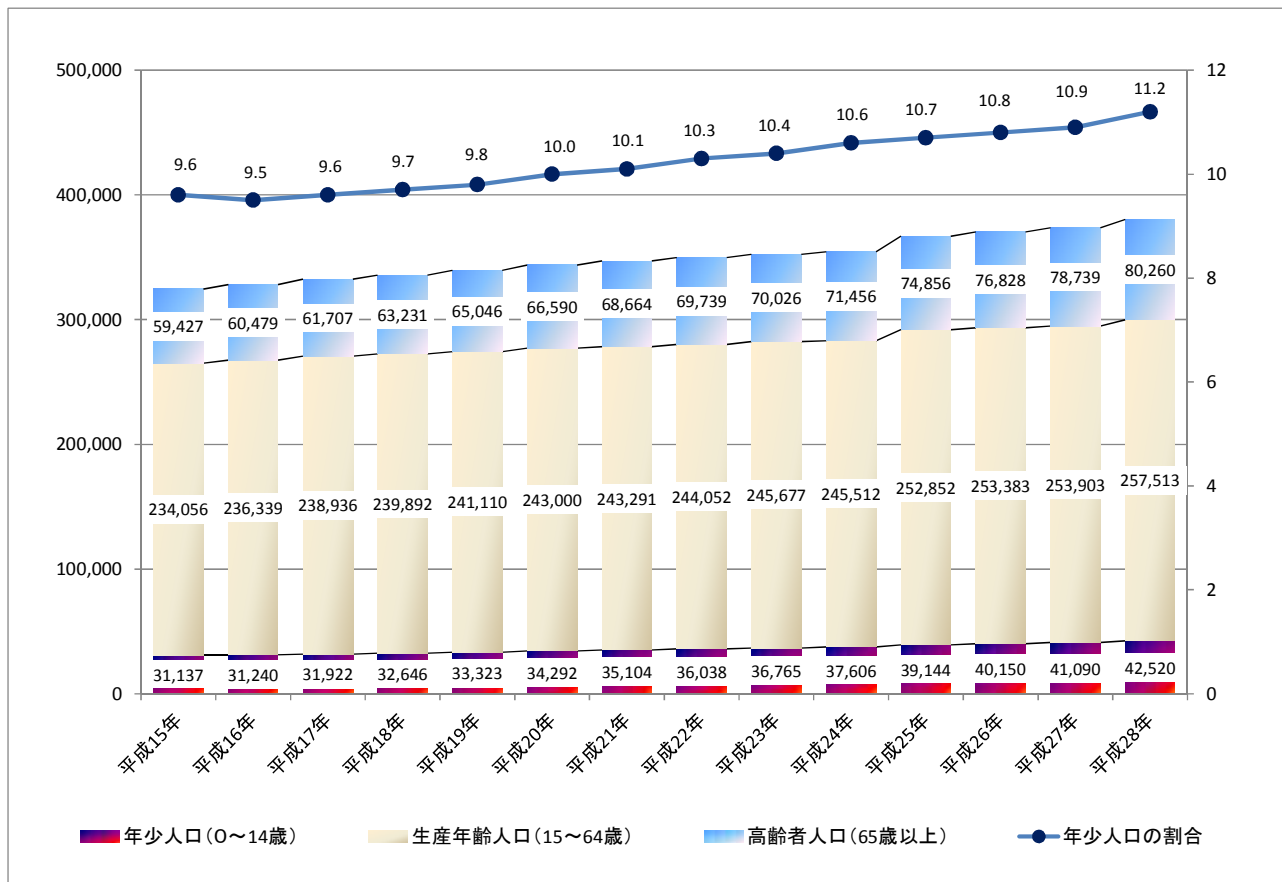
## 第3章 品川区の子ども・子育ての現状と計画

品川区子ども・子育て計画 P.5 参照

# 1 人口と出生の現状

## ①年齢三区分別人口の推移と年少人口の割合

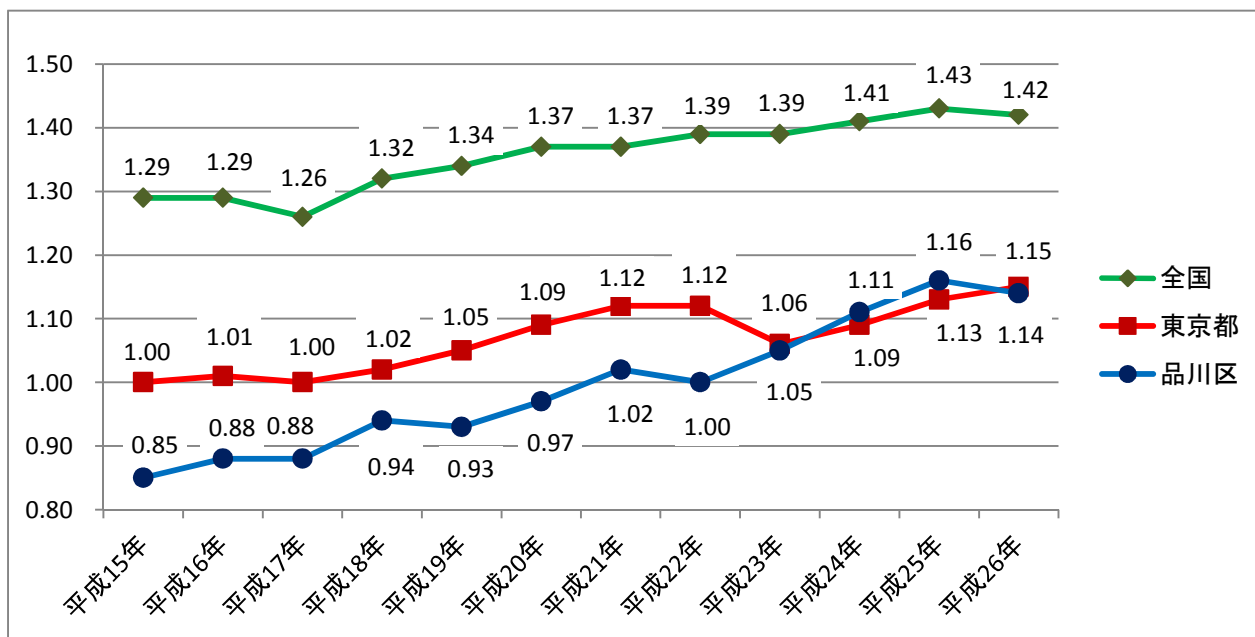
図1-1 年齢三区分別人口の推移と年少人口の割合



(品川区住民基本台帳：各年4月1日の人口) ※平成25年から外国人を含む。

## ②合計特殊出生率の推移

図1-2 合計特殊出生率の推移

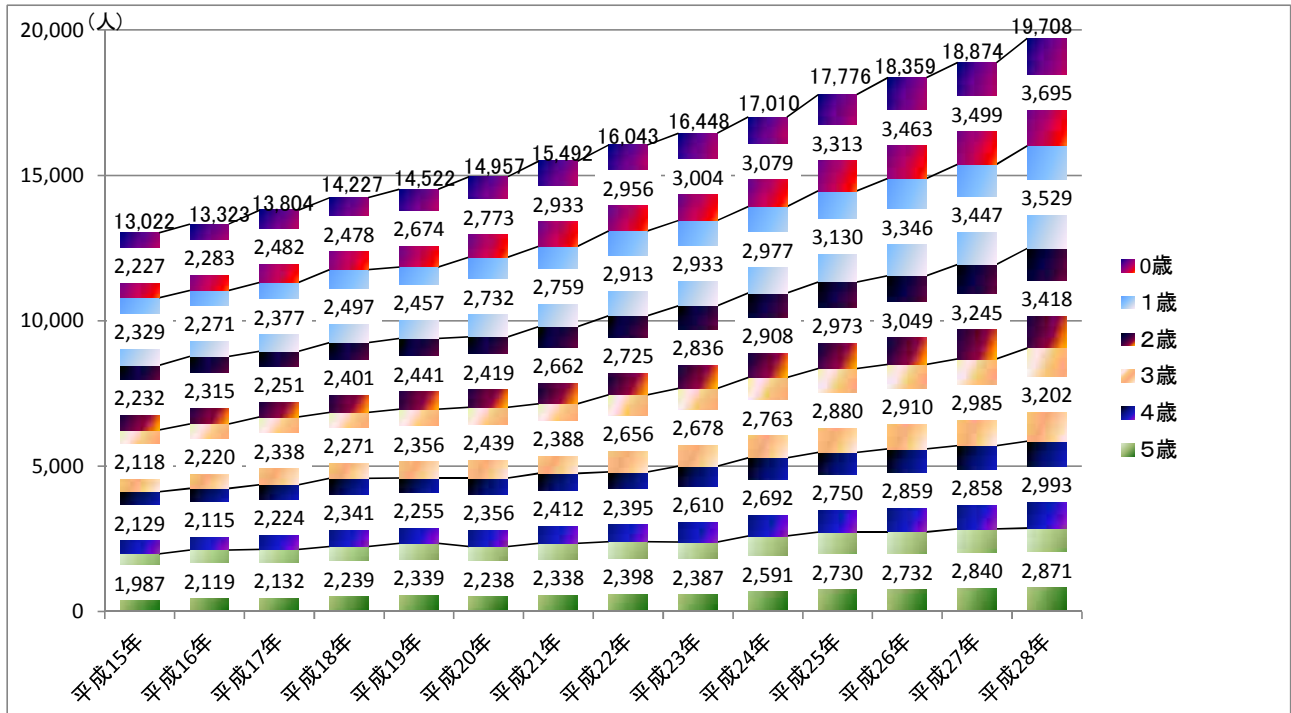


東京都福祉保健局（人口動態統計）

③就学前人口の推移

品川区子ども・子育て計画 P.7 参照

図 1-3 就学前人口の年齢別推移

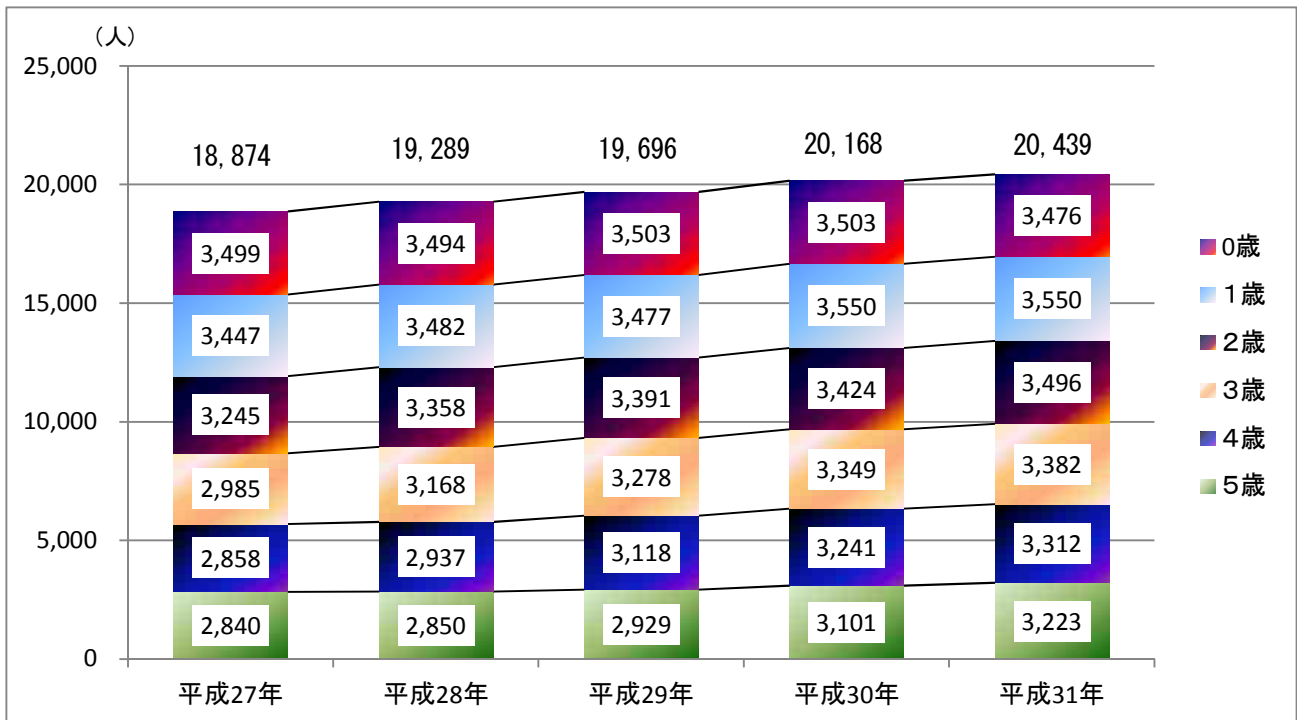


(品川区住民基本台帳：各年4月1日の人口) ※平成25年から外国人を含む。

④就学前人口の年齢別推計

品川区子ども・子育て計画 P.7 参照

図 1-4 就学前人口の年齢別推計



(企画調整課資料：平成27年人口推計データに基づく ※外国人を含む)

## 2 子育て支援の現状

品川区子ども・子育て計画 P.8 参照

### (1) 教育・保育施設の現状

(各年4月1日現在)

(定員・施設数は区内のみ、利用者数は区内および区外施設の区民の利用人数)

#### ①認可保育園の定員・利用者数・施設数

図2-1 認可保育園の定員・利用者数・施設数

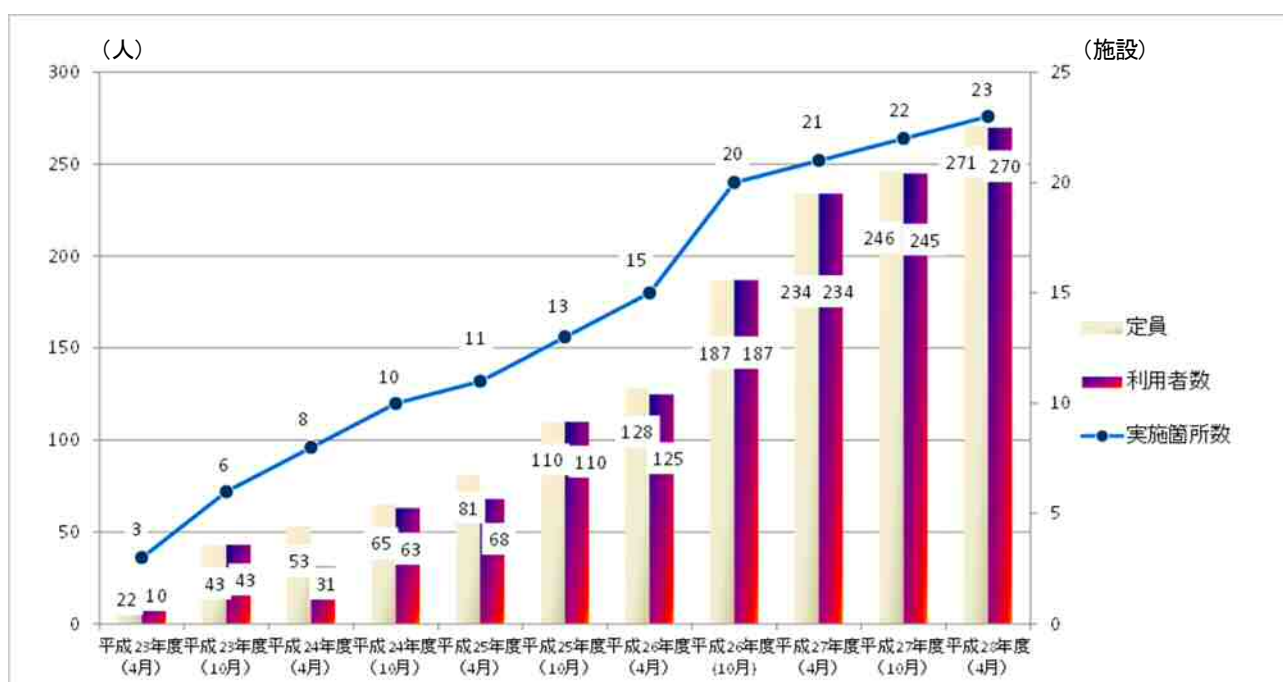


#### ②地域型保育事業の定員・利用者数・施設数

品川区子ども・子育て計画 P.9 参照

図2-2 地域型保育事業の定員・利用者数・施設数

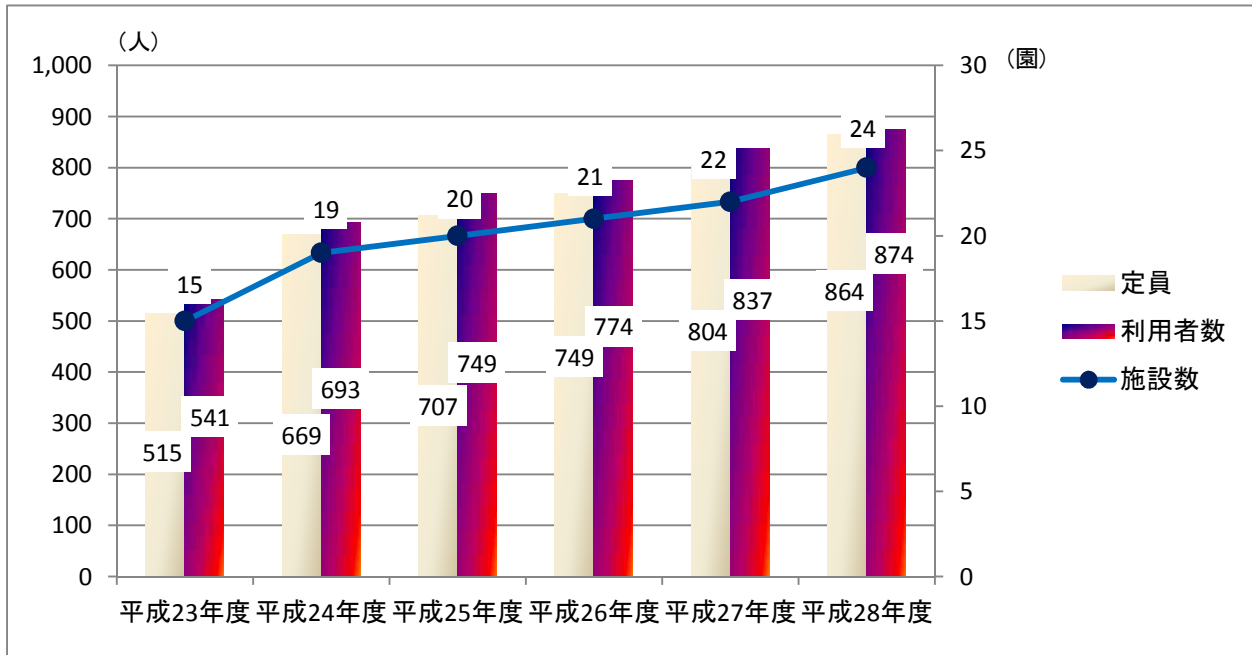
※家庭的保育事業(保育ママ)より名称変更



③認証保育所の定員・利用者数・施設数

品川区子ども・子育て計画 P.8 参照

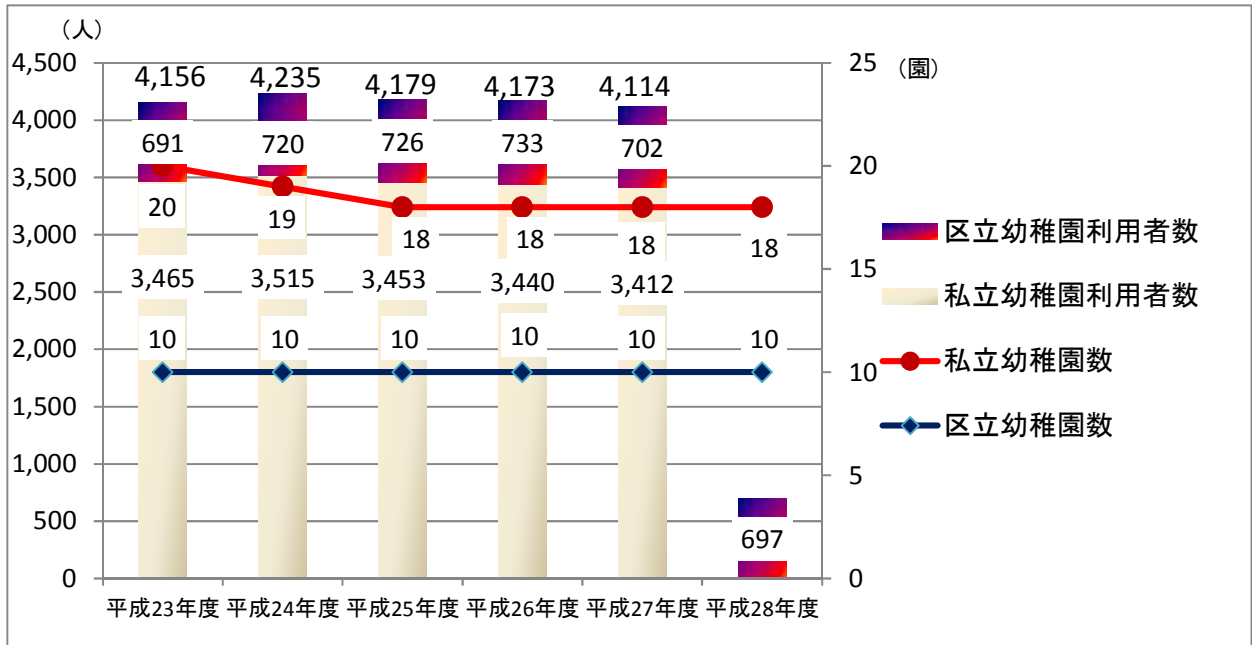
図 2-3 認証保育所の定員・利用者数・施設数



④幼稚園の施設数・利用者数

品川区子ども・子育て計画 P.9 参照

図 2-4 幼稚園の施設数・利用者数



※私立幼稚園利用者数のみ未確定

表 2-1 教育・保育施設の利用の推移 (全体) (人)

年度 (平成)	0~5 歳児 の人口(A)	区内施設 定員 (B)	区民利用者 計 (C)	区内施設 定員率 (B) / (A)	利用率 (C) / (A)	認可保育園 申込み者数	待機児童数
22	16,043	9,147	9,480	57.0%	59.1%	1,771	66
23	16,448	9,833	10,025	59.8%	60.9%	1,688	61
24	17,010	10,540	10,721	62.0%	63.0%	1,865	50
25	17,776	11,023	11,119	62.0%	62.6%	2,021	62
26	18,359	11,452	11,656	62.4%	63.5%	2,483	128
27	18,874	11,763	12,109	62.3%	64.2%	2,799	215
28	19,708		未確定			3,281	178

\*定員は区内施設の定員。ただし、幼稚園は在園児数で把握。

\*区民利用者は区内および区外施設の区民の利用者。

\*平成 25 年度から外国人を含む。(以下、同じ)

\*平成 27 年度から認可保育園申込み者数には地域型保育事業を含む。

\*区外の私立幼稚園利用者数が未確定のため区民利用者計 (C) が未算出。

表 2-2 教育・保育施設の利用の推移 (3歳未満) (人)

年度 (平成)	0~2 歳児 の人口(A)	区内施設 定員 (B)	区民利用者 計 (C)	区内施設 定員率 (B) / (A)	利用率 (C) / (A)	認可保育園 申込み者数	待機児童数
22	8,594	2,352	2,643	27.4%	30.8%	1,465	60
23	8,773	2,657	2,875	30.3%	32.8%	1,445	61
24	8,964	3,055	3,211	34.1%	35.8%	1,558	47
25	9,416	3,346	3,445	35.5%	36.6%	1,650	58
26	9,858	3,546	3,777	36.0%	38.3%	2,076	124
27	10,191	3,755	4,051	36.8%	39.8%	2,411	208
28	10,642	4,255	4,555	39.9%	42.8%	2,702	172

表 2-3 教育・保育施設の利用の推移 (3歳以上) (人)

年度 (平成)	3~5 歳児 の人口(A)	区内施設 定員 (B)	区民利用者 計 (C)	区内施設 定員率 (B) / (A)	利用率 (C) / (A)	認可保育園 申込み者数	待機児童数
22	7,449	6,795	6,837	91.2%	91.8%	306	6
23	7,675	7,176	7,150	93.5%	93.2%	243	0
24	8,046	7,485	7,510	93.0%	93.3%	307	3
25	8,360	7,677	7,674	91.8%	91.8%	371	4
26	8,501	7,906	7,879	93.0%	92.7%	407	4
27	8,683	8,008	8,058	92.2%	92.8%	388	7
28	9,066		未確定			579	6



## 第4章 第3次次世代育成支援対策推進行動計画

品川区子ども・子育て計画 P.11～12 参照

### 1 第3次行動計画の基本的な視点と基本目標

(1) 基本的な視点

(2) 基本目標

基本目標①：だれもが安心して生み育てることができる子育て環境づくり

基本目標②：すべての子どもが明るくのびのびと成長する子育ての環境づくり

基本目標③：区民一人ひとりが地域や家庭の一員として役割を果たす環境づくり

### 2 施策体系・重点事業

品川区子ども・子育て計画 P.13～15 参照

### 3 基本目標ごとの施策・事業

基本目標①：だれもが安心して生み育てることができる子育て環境づくり

品川区子ども・子育て計画 P.17～18 参照

## (1) 健やか親子支援事業の充実

## 【現在の取組み】

## ①健やか親子学習（保健センター）

(人)

延べ参加者数	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
マタニティクラス	1,539	1,370	1,280
二人で子育て	1,741	1,788	1,717
乳児期前期育児学級	2,855	2,594	2,836

## ②乳幼児の各種健康診査（保健センター）

(人)

受診者数（ ）内は受診率	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
4ヶ月児健康診査	3,473	(97.4%)	3,369	(97.1%)	3,611	(97.4%)
1歳6ヶ月児健康診査	2,976	(93.7%)	3,210	(95.0%)	3,336	(94.6%)
3歳児健康診査	2,723	(92.3%)	2,857	(94.4%)	3,009	(93.7%)

## 【これまでの成果および平成27年度の実施状況】

二人で子育て：委託事業所の管理運営が適切に行われ、希望者全員の受講が可能となり、受講者は平成19年度比で2.6倍に増加しています。

離乳食教室：食を通じた健康づくりの推進として行っており、出生児の母親の4割以上が受講しています。

各種健康診査：切れ目のない支援の一環として個別に丁寧な育児・健康相談も実施しています。受診率は区部平均を全て上回り、中でも1歳6か月児健康診査は平成26年度23区中2位の高い受診率です。

## 【今後の課題と方向性】

核家族化や晩婚化、若年の妊娠出産、母親の地域からの孤立、児童虐待など、出産・育児に関する様々な問題に対し、きめこまやかな切れ目のないサービスの充実が一層重要です。

区民、関係機関との連携・協働について積極的な検討を行うなどの支援をします。

## (2) 休日・小児夜間診療の充実

品川区子ども・子育て計画 P.20参照

## 【現在の取組み】

## ①小児（平日）夜間診療（健康課）

20:00～23:00、1か所（昭和大学病院「品川区こども夜間救急室」）

(人)

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
延べ受診者数	1,275	1,065	1,175

## ②土曜日夜間診療（健康課）

17:00～22:00、2か所（品川区医師会休日診療所（第1・3・5週）、昭和大学病院（第2・4週））

(人)

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
延べ受診者数	856	877	855

## ③休日診療（健康課）

昼間 9:00～17:00、3か所（品川区・荏原両医師会休日診療所ほか1ヶ所）

準夜間 17:00～22:00、2か所（品川区・荏原両医師会休日診療所）

(人)

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
(昼間) 延べ受診者数	8,753	9,952	9,320
(準夜間) 延べ受診者数	2,311	2,749	2,381

## 【これまでの成果および平成27年度の実施状況】

地区の医師会、大学病院の協力のもと、休日および1週間を通して小児軽症患者を対象とした夜間の診療体制を確保し、保護者の不安を解消しました。

## 【今後の課題と方向性】

一般の診療所においても休日などに診療を行うところが増えてきたことから、初期救急の確保、医療需要、費用負担（経費）などを総合的に勘案し、適切な診療施設数の検討を行うなど、事業内容を充実します。

## (3) 子育て支援ボランティアなどの育成

## 【現在の取組み】

## ①保育サポーター養成講座（子ども育成課）

(人)

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
講座受講者数	29	17	24

## ②地域ボランティア育成講座（子ども育成課）

(人)

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
講座受講者数	649	269	111

## ③だっこボランティア養成講座（子ども育成課）

(人)

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
講座受講者数	200	177	163

## ④悠々ボランティア育成講座（子ども育成課）

(人)

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
講座受講者数	16	17	4

## 【これまでの成果および平成27年度の実施状況】

地域に潜在する区民の意欲を生かすため、地域の子育てサポーターおよびボランティア育成の講座を継続的に実施しています。また、その意欲を地域に還元するため、活躍の場をコーディネートし、地域における子育て力の向上に努めています。

- ① は年1回開催し、修了後は地域のNPOや保育施設などで活動しています。
- ②・③ は各児童センターで実施し、児童センター事業でのボランティアとして活躍しています。
- ④ は平成26年度までは年2回実施し、平成27年度より年1回の実施の他、修了者を対象としたスキルアップ講習会を実施しました。

## 【今後の課題と方向性】

地域における子育て力の向上のためには、子育て支援ボランティアの力は欠かせません。ボランティア育成のための講座を充実するとともに、活動機会を提供するなど、子育ての区民との協働を視点に取り組みます。

## (4) 事業所内育児施設の整備支援

第3次次世代育成支援行動計画

品川区子ども・子育て計画 P.22参照

## 【現在の取組み】

## ①事業所内育児スペース整備費の助成（商業・ものづくり課）

・育児室設置のためのスペースの工事費用および賃料。

経費の1/2を助成し、総交付限度額 100 万円

(件、円)

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
件数	1	1	0
助成額	1,000,000	396,000	0

## ②ベビーシッター経費の助成（商業・ものづくり課）

・経費の1/2を助成し、総交付限度額 100 万円

(件、円)

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
件数	4	5	2
助成額	950,782	837,740	467,543

## 【これまでの成果および平成27年度の実施状況】

平成 22 年度から始まった事業で、平成 27 年度までの実績は事業所内育児スペース整備費の助成が 7 事業所、ベビーシッター経費助成が 25 事業所となっています。これを利用した事業所の口コミで問い合わせや利用も増えています。

## 【今後の課題と方向性】

本来の制度趣旨である広く中小企業に対して、仕事と家庭のバランスのとれた環境づくりの支援の視点から、産業ニュース、区ホームページのほか、区主催の各種セミナー、窓口などで積極的に PR します。

## (5) 子ども発達支援事業などの充実

品川区子ども・子育て計画 P.23参照

## 【現在の取組み】

## ①早期発見、早期支援による療育事業の充実（障害者福祉課） ※平成24年度より新サービスへ移行。

- ・品川児童学園（児童発達支援センター）・・・乳児期から就学前までの知的障害児に対する療育

(人)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
登録利用者数	33	44	51

- ・品川区児童発達支援・放課後等デイサービス（COMPASS）

- ・・・発達障害に特化した療育事業（グループによる療育プログラム）

(人)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
登録利用者数	123	124	131

- ・他事業所利用を含む利用者総数（児童学園分 再掲）

児童発達支援（医療型を含む）、放課後等デイサービス・・・障害児全般の療育事業  
保育所等訪問支援

(人)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
登録利用者数	217	345	414

## ②発達・発育に関する相談体制、拠点の整備（障害者福祉課）

- ・品川区子ども発達相談室・・・発達・発育に支援の必要な子どもを対象にした専門療育相談
- ・巡回相談

(件)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
相談総数	3,539	4,032	4,729

## ③発達障害児を対象とした思春期サポート事業の実施（障害者福祉課）

(人)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
サポート事業（継続者）	176	231	288

## 【これまでの成果および平成27年度の実施状況】

療育に関する相談と共に早期の療育を望むニーズも増える中、品川児童学園では、母子通園の受け入れを工夫し、登録者を増やして充実させることができました。

一方、相談件数の増加傾向は続き、民間の療育機関も増えたことで全体の療育事業の利用者数は増加し、幅広いニーズに対応できるようになっています。

また、療育だけでなく、保健・保育・子育て・教育と関連する分野の紹介も含めた「療育支援ガイドブック」を作成しました。見通しを持った相談に対応できるように活用していきます。

## 【今後の課題と方向性】

特別な支援の必要な子どもたちも地域とともに育つ視点を大切にしていくためには、個々の子どもの成長段階に必要な療育や支援を、保護者と共有しながら継続していくツールとして「サポートブック」の活用が有効とされています。今後、関連機関との情報共有や連携を強化するためにも、品川区版のサポートブックを作成し、多様な障害児の療育の充実や障害児の子育てをする保護者や家族支援に役立てていきます。

## 基本目標②：すべての子どもが明るくのびのびと成長する子育ての環境づくり

品川区子ども・子育て計画 P.24参照

第3次次世代育成支援行動計画

### 基本目標②1)：魅力ある公立学校教育の推進（特色ある学校教育の実践）

#### （1）小中一貫教育の推進

品川区子ども・子育て計画 P.25参照

##### 【現在の取り組み】

##### ①新小中一貫教育要領の実施（指導課）

品川区では、学習指導要領を踏まえつつ、品川区独自の教科や内容を加え「品川区小中一貫教育要領」を策定し、全校で実施しており、確かな学力の定着と豊かな人間性の育成を目指しています。

##### ② 保幼小連携の推進（指導課・教育総合支援センター）

小1プロブレムを未然に防ぎ、保幼と小の学びを連続させるため、区独自の「ジョイント期カリキュラム」を全園・校で実施しています。

##### ③区固有教員の採用（指導課）

平成21年度から区独自で教員を採用し、小中一貫教育を円滑・継続的に推進する教員を育成しています。

##### ④学力定着度調査の全校実施（指導課）

小中一貫教育の成果と課題を検証し、今後の教育指導や施策の改善に役立てるため、全校の4年生・7年生で実施しています。

##### ⑤その他（指導課・教育総合支援センター）

教材の充実、市民科や小学校英語科の充実、ステップアップ学習・習熟度別学習の充実、教職員研修を充実しています。

##### 【これまでの成果および平成27年度の実施状況】

小中一貫教育に取り組むことで、小・中学校間の意識の溝が埋まり、全教員が一体となって児童生徒指導に当たっています。児童・生徒についても、着実な学力の向上、生活態度の改善、規範意識の定着が進みました。また、学校組織として対応する力や品川区の学校教育に対する保護者、区民の信頼が高まっています。

さらに、品川区の小中一貫教育を手本として、全国で小中一貫教育を目指す取り組みが広がっています。

平成27年度の実施状況は、以下のとおりです。

①「品川区小中一貫教育要領」および「ジョイント期カリキュラム」に基づいた教育を実施しています。③平成26年度は3名の固有教員を採用しました。④学力定着度調査について、平成27年度は全校の4年生および7年生3,780人を対象に実施しました。⑤区内小学校にALT（外国人講師）を派遣し、ALTが参加するジュニアイングリッシュキャンプを実施しました。また、モデル校を指定してJTE（日本人英語専科指導員）を配置し、小学校英語科のより一層の充実を図りました。平成27年度の習熟度別学習では、区内小・中学校および小中一貫校44校において87人の習熟度別学習指導助手を採用し、児童・生徒の学力の基礎・基本の定着を図りました。

##### 【今後の課題と方向性】

義務教育学校の法制化への対応や地域と協働した学校の在り方などを検討し、品川の教育のさらなる充実を目指します。

## (2) 子どもを見守る地域ネットワークの充実

第3次次世代育成支援行動計画

品川区子ども・子育て計画 P.26参照

## 【現在の取組み】

## ①「まもるっち」の貸与（地域活動課）

全区立小学生と国私立小学生のうち希望者に、GPS機能付緊急通報装置「まもるっち」を貸与しています。

## ②システムの運用（地域活動課）

通報への一時対応は区のシステムセンターにて行い、内容によって保護者・学校・協力者・生活安全パトロール・警察に対応を依頼しています。

## ③協力者ネットワークの維持（地域活動課）

発報時に対応をする地域の協力者を募集するほか、協力者意識の維持・啓発のために研修などを実施しています。

(※各年度末現在、人、件)

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
「まもるっち」貸与数	13,637	13,924	14,401
緊急発報件数	17	13	14
協力者数	11,568	10,899	10,702

## 【これまでの成果および平成27年度の実施状況】

区内において、これまで児童に対する大きな犯罪は起きていないことから、「まもるっち」の貸与は、児童に対する犯罪の抑止効果として大きな役割を果たしてきています。

昨今の課題として、児童の誤発報が増加していることから、警視庁が各小学校で開催しているセーフティ教室にて、まもるっちの正しい使い方等を指導しています。

## 【今後の課題と方向性】

近隣セキュリティシステム協力者の安定確保および継続的な情報提供を行います。



## (3) ティーンズプラザの充実

(子ども育成課)

## 【現在の取組み】

9ヶ所ある中高生の活動拠点「ティーンズプラザ」において、音楽やスポーツ、地域貢献などの活動を支援するとともに、友人と集い、憩える場を提供しています。

また、思春期における様々な悩みに応じ、適切な指導・助言を行っています。

(か所、人)

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
施設数	9	9	9
中高生入館者数	66,509	63,224	59,551

## 【これまでの成果および平成27年度の実施状況】

バスケットボールや卓球などのスポーツや音楽バンド、ダンスをとおして、放課後の居場所づくりと活動の支援に取り組んでいます。活動への参加によって、新たな交流や仲間作り、また自立意識の醸成を図っています。

## 【今後の課題と方向性】

居場所作りを通して、健全育成を図り、地域の若い力を地域に還元することが課題です。

乳幼児から18歳未満までが利用対象となっている児童センターの施設特性を生かし、児童間の縦の関係づくりを行い世代を超えた交流を行います。

## (4) 体験活動の支援・機会の提供

(子ども育成課)

## 【現在の取組み】

木工教室や芸術活動、自然体験などの各種分野の中から、「わくわく・ドキドキ」を実体験できる体験活動を平成22年度より展開しています。カテゴリー別に、各分野の専門家を講師として招き、子どもたちの「すごい！どうして?!なぜ?!」と言う感動と探究心を大切にしたい事業を実施しています。

コース内容：

「体験コース」2回、小学校1年～6年の親子

「表現コース」3回、小学校1年～6年の親子、小学5年～中学生と親子

(人)

延べ参加人数	平成25年度	平成26年度	平成27年度
実験コース	75	72	—
体験コース	—	—	58
表現コース	51	44	77

## 【これまでの成果および平成27年度の実施状況】

(体験コース) 全2回

日時：①平成27年7月26日(日) 午前10時～午後3時

②平成27年8月23日(日) 午前10時～午後3時

場所：①三ツ木児童センター

②ゆたか児童センター

内容：平成27年度より実験コースを変更し、早川町の間伐材を活用した木工教室を体験コースとして実施した。

(表現コース) 全3回

日時：①平成27年8月1日(土) 午前10時半～午後4時

②平成27年8月8日(土) 午後1時半～午後3時半・午後4時～午後6時

場所：①東京芸術劇場シアターウエスト

②SETスタジオ(劇団スーパーエキセントリックシアタースタジオ)

内容：劇団スーパーエキセントリックシアターによる劇団公演バックステージツアーとワークショップ体験を実施した。

## 【今後の課題と方向性】

学校・部活動などで体験できないテーマの設定とニーズの把握が必要です。

体験活動の重要性を啓発・広報し、体験型育成事業の周知についても様々な方法を検討します。テーマと手法について検証を行い、より斬新な事業形態を検討します。

## 基本目標③：区民一人ひとりが地域や家庭の一員として役割を果たす環境づくり

品川区子ども・子育て計画 P.29参照

### 基本目標③ 1)；すべての若者の生活能力向上の推進

第3次次世代育成支援行動計画

#### (1) 若年者の経済的自立の支援

品川区子ども・子育て計画 P.30参照

##### 【現在の取組み】

##### ①若者等就業支援事業（平成26年度から実施）（商業・ものづくり課）

対象者：39歳以下の就職活動中の方

就業支援セミナー実施回数：14回

(件、人)

延べ件数・人数	平成26年度	平成27年度
わかもの就業相談件数	187	234
セミナー延べ参加者数	90	115

##### ②若者就業体験事業（平成25年度から実施）（商業・ものづくり課）

※平成27年度は事業名を「就業体験事業」に変更。若者と女性を対象に実習先での直接雇用を目指すインターンシップとして実施。

(人)

人数	平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業参加者数	36	37	33 (うち職場実習21人)
実習先直接雇用者数	27	29	12
うち正規雇用者	26	19	5

##### ③求人企業支援事業「合同就職説明会」（平成24年度から実施）（商業・ものづくり課）

(社、人)

支援企業数・人数	平成25年度	平成26年度	平成27年度
コンサルティング	19	20	29
合同就職説明会来場者	80	40	35

##### 【これまでの成果および平成27年度の実施状況】

若者等就業支援事業では、39歳以下の就職活動中の若者に対し、就職活動の進め方や仕事の選び方、応募書類の書き方や面接対策などを就業相談やセミナーによりアドバイスやレクチャーしました。

就業体験事業では、4日間の事前研修と1～2ヶ月の職場実習(インターンシップ)ののち、実習先企業に12人が直接雇用されました。

求人企業支援事業では、10月5日に「合同就職説明会」を開催し、若年求職者35人が来場しました。

##### 【今後の課題と方向性】

今後の景気や若年者の雇用情勢を踏まえ、各事業の充実を検討します。

## (2) ひきこもり等若年者自立の支援

(子ども育成課)

## 【現在の取組み】

庁内関係各課による検討会、区内関連団体・NPOなどの調査研究を行っています。また、東京都が実施している「東京都ひきこもりサポートネット訪問相談(アウトリーチ)」の第1次窓口として電話受付などを行っています。(平成26年度から実施)

(件)

問合せ件数	平成26年度	平成27年度
東京都ひきこもりサポートネット受付	5	4

## 【これまでの成果および平成27年度の実施状況】

区内外多方面にわたり、ひきこもり等若年者自立支援に関する取り組みを視察するなどして、若者の実態と自立支援の現状把握に努めました。

また、ひきこもり等の現状を的確に把握し、今後の取り組み事項を明確に図ることを目的として、以下の講演会および研修に参加し、知識と理解を深めました。

- ・「社会医療問題」文化講演～孤立無業について
- ・若者の自立等支援に係る区市町村職員向け研修
- ・ひきこもり支援セミナー
- ・不登校・若者自立支援フォーラム
- ・若者自立支援勉強会 等

## 【今後の課題と方向性】

東京都では、平成27年度に子ども・若者育成支援推進法に基づく「東京都子供・若者計画」の策定に向けて検討を進めています。都の計画を受け「品川区子ども・若者支援計画」の策定を検討しました。

## (3) 青少年の社会貢献活動の支援

品川区子ども・子育て計画 P.32参照

## 【現在の取組み】

## ① 青少年地域貢献活動支援事業（子ども育成課）

- ・ジュニアリーダーボランティア派遣事業（中高生コース対象）（平成23年度から実施）
- ・「役立ち隊」育成事業（一般公募）（平成24年度から実施）

※平成26年度よりジュニアリーダーボランティア派遣事業と統合し、役立ち隊育成事業に一本化しました。

(人、回)

役立ち隊	25年度	26年度	27年度	① ボランティア派遣	25年度	26年度	27年度
登録者	36	27	44	活動回数	2	—	—
活動回数	17	34	53	延べ活動人数	3	—	—
延べ活動人数	90	174	216				

## ② 中高生ボランティア活動の支援（子ども育成課）

(回、チーム)

	25年度	26年度	27年度
実施回数	1	1	—
参加チーム数	22	25	—

## 【これまでの成果および平成27年度の実施状況】

## ① 青少年地域貢献活動支援事業役立ち隊育成事業

平成26年度は年間活動目標を明確にし、活動を展開しました。その結果、役立ち隊メンバーひとりひとりが計画的に行動する自覚が芽生え、役立ち隊が組織として機能するようになりました。

## 活動目標

- (1) 親子交流を目的にした自主企画イベントの取り組み
- (2) 2020 オリンピック・パラリンピック東京に向けての取り組み
- (3) 子どもたちに遊びや生活を通じた支援をする取り組み
- (4) 被災地支援に関する取り組み

② 中高生の主体的な社会・地域貢献活動の動機づけとして、スポーツ感覚で環境活動を体験する「スポーツGOMI拾い大会」を平成26年度まで実施し、児童センターを拠点にしたボランティア活動につなげました。以後は館ごとに地域特性を生かし中高生が地域で活躍できるよう取り組んでいます。

## 【今後の課題と方向性】

町会や学校と類似した事業の実施は避け、参加者の取り合いにならないよう配慮をしています。役立ち隊の組織化をはかり自主活動の範囲を拡げる働きかけが必要です。また、5年後のオリンピック・パラリンピック東京開催に、多くの若者が関わりを持てるよう取り組みます。

(4) ワーク・ライフ・バランスアクションプランの推進

第3次次世代育成支援行動計画

品川区子ども・子育て計画 P.33参照

(人権啓発課)

【現在の取組み】

平成21年10月に策定した「男女共同参画のための品川区行動計画(第4次)」で、重点施策として「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現」を掲げ、ワーク・ライフ・バランスアクションプランを推進しています。また、平成27年の「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」成立も踏まえ、女性の活躍を支えるワーク・ライフ・バランスのさらなる啓発に取り組んでいます。

- 1) ワーク・ライフ・バランスの意識啓発
- 2) 働く場におけるワーク・ライフ・バランスの推進
- 3) 家庭生活におけるワーク・ライフ・バランスの推進
- 4) 地域におけるワーク・ライフ・バランスの推進

男女共同参画センターでは、意識啓発として以下の取組みを行っています。

- ① 男女平等啓発誌「マイセルフ」の作成  
啓発誌において、ワーク・ライフ・バランスに関する意識や理解を深めるため、区民委員の企画・編集による特集記事を掲載しています。
- ② ワーク・ライフ・バランス講座等の実施  
ワーク・ライフ・バランスにつながる講座、講演を実施し、意識啓発の場を提供しています。

【これまでの成果および平成27年度の実施状況】

啓発紙、講座等の実施により、ワーク・ライフ・バランスに関する意識・理解の普及を図りました。

- ・男女平等啓発誌「マイセルフ」

平成27年度 年3回 発行 計20,100部  
VOL 49(8月)、VOL 50(12月)、VOL 51(平成28年4月)

- ・ワーク・ライフ・バランス講座 平成27年度 全4回 実施、参加者数 延べ68人

	テーマ		参加者数
1	煌く人生のための魅力発見	9/2・4	延25人
2	声磨きで「自分磨き」	3/10・17	延43人

- ・女性の活躍支援講座 平成27年度 全2回 実施、参加者数 延べ37人

	テーマ		参加者数
1	子育て女性向けセミナー	12/15	19人
2	パパもママもワーク・ライフ・バランス	2/21	18人

- ・「男女共同参画推進フォーラム2015」

平成27年11月14日(土) 午後1時30分~3時 きゅりあん小ホール 参加者数158人  
講演 「はじめてみよう WinWin 認める+伝える=幸せの共有」  
講師 上野恭子(NPO法人 WinWin 育成協会 理事長)

【今後の課題と方向性】

ワーク・ライフ・バランスの意識啓発を推進します。

## (5) 親育ちサポート事業の充実

品川区子ども・子育て計画 P.34参照

## 【現在の取組み】

- ①赤ちゃんとのふれあい事業の充実（子ども育成課）
- ②親育ちワークショップの充実（子ども育成課）
- ③父親の子育て参加促進事業の充実（子ども育成課）
- ④プレママ・プチママタウン（子ども育成課）
- ⑤父親のための親育ちワークショップ（子ども育成課）
- ⑥一日保育士体験（保育課）

(人、回)

延べ参加者数	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
①参加生徒数	2,091	2,016	1,756
協力親子数	1,122	1,130	1,182
②親育ちワークショップ	1,439	1,167	1,222
ボランティア数	1,206	1,114	1,160
③父親の子育て参加促進講座	6,797	5,890	6,118
(うち父親の参加者数)	1,556	1,365	1,198
④プレママ・プチママタウン実施回数	—	6	6
参加者数	—	57	71
⑤父親のための親育ちワークショップ実施回数	—	10	15
父親参加者数	—	137	149
⑥一日保育士体験	1,140	1,312	1,526

## 【これまでの成果および平成27年度の実施状況】

## ①～⑤について

乳幼児家庭の孤立化の防止や育児不安の解消を図るため、母親・父親・次世代の親を対象としたアプローチを行い、総合的な親育ちを支援しています。また、平成26年度からは、妊娠中や初めて子どもを持つ母親と子育ての先輩母親との交流により、育児不安の解消を図ることを目的とした「プレママ・プチママタウン」、父親としての役割を学びつつ仲間づくり、家庭における子育て力の向上を目的とした「父親のための親育ちワークショップ」を実施しています。

## ⑥ 一日保育士体験

区立保育園在園児の保護者が、わが子の新たな姿を発見し、「親」の役割と責任を実感できる事業として、平成22年度から実施しており、参加者数も年々上昇しています。

## 【今後の課題と方向性】

乳幼児親子の地域における孤立化の防止や家庭における子育て力の向上のためには、行政による様々な交流の場や子育て情報の提供のより一層の充実が必要です。利用者目線にたった子育て支援策のあり方について、引き続き検討します。

## (6) 「家庭の日」の普及啓発

### 【現在の取り組み】

#### ① 親子対象事業の第1日曜日実施（子ども育成課）

親子を対象とした区主催の各種事業を「家庭の日」（毎月第1日曜日）に集中して実施するほか、啓発グッズを配布しています。

#### ② 「家庭の日」のぼり旗・懸垂幕の掲出（子ども育成課）

「家庭の日」に児童センターでのぼり旗を、また、前後1週間は区役所に懸垂幕を掲出しています。

#### ③ 毎月1日号の区広報紙に、啓発記事を掲載（子ども育成課）

#### ④ 「家庭の日」通信「まいふぁみりー」の発行（子ども育成課）

親子で参加できる事業やイベントの紹介、参加者の声などを掲載したパンフレットを発行し、「家庭の日」における区民活動を推進します。パンフレットは区内保育園、幼稚園、小中学校、図書館などで配布しています。

### 【これまでの成果および平成27年度の実施状況】

- ・まい ふぁみりー発行「家庭の日通信」 35,000枚×1回（9月）

### 【今後の課題と方向性】

家族の役割や家庭教育の重要性がますます高まっていることから、普及と啓発に努めます。



## 第5章 子ども・子育て支援事業計画

### 1 教育・保育提供区域の設定

品川区子ども・子育て計画 P.36～P.39参照

### 2 幼児期の学校教育・保育

### 3 地域子ども・子育て支援事業

品川区子ども・子育て計画 P.41参照

#### (1) 利用者支援に関する事業（利用者支援）

子ども・子育て支援事業計画

##### 【現在の取組み】

品川区子ども・子育て計画 P.42参照

##### ①しながわっ子 子育てかんがるープラン（保育課）

表1-1 しながわっ子 子育てかんがるープラン実績数 (件)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
相談件数	387	333	380

##### ②子育てひろば事業相談（子ども育成課）

表1-2 子育てひろば事業相談件数実績数 (件)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
相談件数	3,308	3,310	2,152

#### 【これまでの成果および平成27年度の実施状況】

##### ① しながわっ子 子育てかんがるープラン

ライフスタイルに応じた子育て支援事業の紹介や情報提供などを行い、相談に応じながら子育てプランを作成する支援を実施しています。窓口は保育課入園相談係ですが、保健センターやマタニティクラスでの紹介も実施しています。

##### ② 子育てひろば事業相談

少子化や育児の孤立化に伴う子育ての不安などの対応として児童センターやぶりすくーる西五反田で相談を受け付けています。各施設では、相談内容に応じ、情報の提供、および適切な機関に繋げています。

#### 【今後の課題と方向性】

家庭や地域の子育てをめぐる環境が変化する中、多様な子育てに関する相談に対応するため、子ども・子育て支援に関わる情報提供、利用希望に基づく相談などの対応を引き続き進めます。

## (2) 時間外保育事業（延長保育事業）

子ども・子育て支援事業計画

### 【現在の取組み】

品川区子ども・子育て計画 P.43～P.44参照

#### ① 延長夜間保育（保育課）

表 2-1 延長保育の実施園数(平成 27 年度)

(か所)

実施時間	公立保育園	私立保育園
午後 7 時 30 分までの延長保育実施園	31	3
午後 8 時までの延長保育実施園	-	4
午後 8 時 30 分までの延長保育実施園	7	29
午後 9 時までの延長保育実施園	-	2
午後 10 時までの延長保育実施園	6	-
延長早朝保育の実施園	-	5
計	44	43

表 2-2 公立園延長保育(標準時間認定)の利用状況(延べ人数)

(人)

年度(平成)	1時間延長	2時間延長	夜間	合計	利用者数
25	70,987	20,153	3,904	95,044	2,521
26	66,921	18,563	4,064	89,548	2,507
27	72,648	17,315	3,709	93,672	3,036

表 2-3 公立園延長保育(短時間認定)の利用状況(延べ人数)

(人)

年度(平成)	1時間延長	2時間延長	3時間延長	合計	利用者数
27	3,805	451	122	4,378	432

表 2-4 私立園延長保育の利用状況(延べ人数)

(人)

年度(平成)	早朝	1時間延長	2時間延長	合計	利用者数(推計)
25	1,198	34,078	12,236	47,512	1,208
26	1,333	38,916	15,101	55,350	1,349
27	1,193	51,637	20,433	73,263	1,571

表 2-5 私立園延長保育(短時間認定)の利用状況(延べ人数)

(人)

年度(平成)	早朝	1時間延長	2時間延長	合計	利用者数(推計)
27	2,472	7,025	304	9,801	183

### 【これまでの成果および平成 27 年度の実施状況】

公立園では全園で午後 6 時 30 分から 7 時 30 分までの延長保育を実施しており、園によっては最長で午後 10 時までの夜間保育を実施しています。平成 26 年度の延長保育の利用状況と比較すると、1 時間延長は増加していますが、2 時間延長および夜間保育は減少しています。しかし、短時間認定者が 8 時間を超えた部分を利用できる時間内延長保育が制度化されたことにより、全体的な利用実績は伸びています。

私立園については、利用方法や延長保育料が各園で異なるものの、保護者のニーズは高く、利用者数は増加しています。平成 27 年度には、新規に 4 園が開設し、また短時間認定の区分が制度化され、その認定時間の前後に実施する保育を新たに延長保育として位置付けたため、大幅に利用実績が伸びています。

#### **【今後の課題と方向性】**

都市部の特有な就労形態に対応するため、保護者が安心して就労が継続できるように、就労支援を充実するとともに、子どもの保育環境の保障を図ります。

### (3) 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

子ども・子育て支援事業計画

品川区子ども・子育て計画 P.45～P.46参照

#### 【現在の取組み】

##### ①すまいるスクール（子ども育成課）

表3-1 すまいるスクール登録数・登録率 (人)

	平成27年3月末		平成28年3月末	
	児童数	登録数	児童数	登録数
全児童数	13,574	9,420	14,092	9,685
うち低学年	7,134	6,575	7,428	6,905
うち高学年	6,440	2,845	6,664	2,780
1校平均	367	255	381	262
登録率	—	69.4%	—	68.7%

表3-2 すまいるスクール参加児童数（延べ人数） (人)

	平成27年3月末		平成28年3月末	
	平日	土曜	平日	土曜
全児童数	704,516	39,884	734,964	40,325
1日平均	2,899	814	3,024	791
登録参加率	30.8%	8.6%	31.2%	8.2%

#### 【これまでの成果および平成27年度の実施状況】

すまいるスクールは、放課後児童健全育成事業と放課後子ども教室を、平成16年度より一体的に実施しています。児童が自由に参加し、活動できる放課後の居場所として、学校や地域の協力を得て、内容の充実に努めています。

#### 【今後の課題と方向性】

平成28年度より、午後7時までの運営時間の延長（午後6時以降は1～3年生が利用可）、また午後5時を超えて利用する児童への間食の提供など事業の見直しを図りました。引き続き、放課後の安全・安心に活動できる場所として、家庭や学校との連携を進めるとともに、地域の方などとの協働で児童の健全育成を推進します。

## (4) 子育て短期支援事業

子ども・子育て支援事業計画

品川区子ども・子育て計画 P.47～P.48参照

### 【現在の取組み】

#### ①子育て家庭在宅サービス事業（子ども育成課）

表4-1 子育て短期支援事業（ショートステイ）事業実績数 (人、人日)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
利用者数	27	10	11
延べ利用日数	79	31	33

表4-2 夜間養護等（トワイライトステイ）事業実績数 (人、人回)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
利用者数	476	453	360
延べ利用回数	3,663	3,176	1,938

### 【これまでの成果および平成27年度の実施状況】

保護者の仕事、病気や出産のための入院や冠婚葬祭で保護者が一時的に児童を養育できない際、子育てを短期的に支援しました。平成26年度から件数に減少がみられました。

### 【今後の課題と方向性】

子育て支援と要保護児童対策の両面から対象年齢や利用要件について整備し、利用者へ周知します。

## (5) 乳児家庭全戸訪問事業

## 【現在の取組み】

品川区子ども・子育て計画 P.49参照

## ①すくすく赤ちゃん訪問事業（保健センター・子ども育成課）

表5-1 すくすく赤ちゃん訪問事業訪問件数など (件)

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
訪問件数		2,828	2,901	3,029
内 訳	保健センター	2,810	2,879	3,018
	児童センター	18	22	11
出生通知票受理件数		2,574	2,450	2,578
出生数		3,566	3,470	3,706
訪問率		79.3%	83.6%	81.7%

※訪問率は、訪問件数を出生数で除した数値。

## 【これまでの成果および平成27年度の実施状況】

平成 26 年度からは新たに出生通知票による申し込みのない家庭へ手紙による予告訪問を開始しました。また、病院からの連絡等による把握率は 85.5%、訪問率は 81.7%となっています。出産後の支援として広く育児や子育て支援情報を届けると共に親子の健康に関する相談を行い、子育て家庭の孤立化防止に資することができました。

## 【今後の課題と方向性】

「虐待の気づき・発見」、「発生子防」は重要であり、本事業の全数実施がより一層重要な課題です。

今後は昨年から開始した妊娠期からの面接事業との連携を強化し、すくすく赤ちゃん訪問の周知の工夫、訪問件数を増加させるための課題検討と実施および地域連携の強化に取り組めます。

(6) 養育支援訪問事業および要保護児童対策地域協議会その他の者による要保護児童等に対する支援に資する事業

子ども・子育て支援事業計画

【現在の取組み】

品川区子ども・子育て計画 P.50参照

①養育支援訪問（子ども育成課）

表6-1 養育支援訪問実績数

(件)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
育児支援ヘルパー派遣	377	312	314
児童虐待予防的支援	232	265	376

【これまでの成果および平成27年度の実施状況】

妊娠時や出産時に他から援助を受けることが難しい家庭にヘルパーを派遣し、当該家庭の養育が適切に行われるよう支援しています。平成27年度は平成25、26年度とほぼ同様に事業を実施しています。

【今後の課題と方向性】

育児支援と児童虐待の早期発見・予防の視点から、実施内容を充実します。

(7) 地域子育て支援拠点事業

子ども・子育て支援事業計画

【現在の取組み】

品川区子ども・子育て計画 P.51参照

①地域子育て支援センター（子ども育成課）

表7-1 地域子育て支援センター乳幼児利用実績数

(人日、件)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
延べ利用者数	3,368	2,882	2,744
利用者数（月平均）	281	240	229
子育て相談件数	36	98	54

※子育て相談件数は、表1-2 子育てひろば事業相談件数実績数の内数

②児童センター事業（子ども育成課）

表7-2 児童センター乳幼児利用実績数

(人日、件)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
延べ利用者数	237,232	237,007	236,094
利用者数（月平均）	19,769	19,751	19,675

表7-3 親子のひろばの実施回数・利用者数（表7-2の内数）

(回数、人日、人)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
クラブ数	103	105	105
実施回数	3,274	3,422	3,394
延べ利用者数	59,769	57,978	53,160
利用者数（月平均）	5,434	5,271	4,833

表 7-4 チャイルドステーション事業の実施施設数・登録者数（表 7-2 の内数）（か所、人）

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
実施施設数	25	25	25
登録者数	1,862	1,926	-

登録制度は 26 年度で終了

## ③チャイルドステーション事業（保育園・幼稚園）（保育課）

表 7-5 チャイルドステーション事業（保育園・幼稚園）の実施施設数・利用者数（か所、人日）

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
実施施設数	41	41	43
延べ利用者数	1,272	1,281	2,401

## ④地域交流室ポップンルーム（保育課）

表 7-6 地域交流室ポップンルーム実績数（人日、日）

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
延べ利用者数	4,743	4,246	4,129
利用者数（月平均）	386	353	344
実施日数	246	244	244

## 【これまでの成果および平成 27 年度の実施状況】

## ① ～ ②（子ども育成課）

地域の身近な場所である児童センターやぷりすくーる西五反田では、親同士の交流の機会の提供や育児相談、子育てに関する情報提供などを行っています。

## ③ ～ ④（保育課）

保育園・幼稚園で行っているチャイルドステーション事業の一つである子育て体験事業は、実施園の増加や実施回数の増加により実績が増えています。地域交流室ポップンルームに関しては、これまで在宅子育て家庭への支援策として、一定の実績がありましたが、ここ数年は減少傾向にあります。

## 【今後の課題と方向性】

地域ぐるみの子育て支援をより一層充実させるべく、必要な情報の提供や利用者支援を強化します。



(8) 一時預かり事業

【現在の取組み】

①幼稚園における預かり保育（保育課）

表8-1 区立幼稚園等預かり保育実施施設数・延べ利用者数 (か所、人日)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
実施施設数	10	10	10
延べ利用者数	40,910	46,015	43,441

表8-2 私立幼稚園預かり保育（きんだあくらぶ）実施施設数・延べ利用者数 (か所、人日)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
補助金対象園数	7	8	8
延べ利用者数	51,459	62,767	未確定

②幼稚園以外による一時預かり事業

②-1 一時保育（保育課）

表8-3 一時保育の利用実績（区立保育園） (人、人日)

保育事由		平成25年度	平成26年度	平成27年度
死亡・行方不明	人数	0	2	0
	人日数	0	22	0
入院・通院	人数	194	128	149
	人日数	696	660	761
看護	人数	43	46	32
	人日数	325	148	112
幼稚園休園	人数	81	110	99
	人日数	487	680	479
緊急一時	人数	14	1	3
	人日数	21	5	4
その他	人数	112	115	101
	人日数	270	489	326
合計	延べ利用人数	444	402	384
	延べ利用日数	1,799	2,004	1,682

表8-4 一時保育の利用実績（私立保育園）

（か所、人日）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
実施保育園数	9	11	9
延べ利用者数	1,331	1,909	922

## ②-2 生活支援型一時保育（オアシスルーム）（保育課）

表8-5 生活支援型一時保育（オアシスルーム）の実施場所数・延べ利用者数

（か所、人日）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
実施場所数	8	8	8
リフレッシュ	2,860	3,541	3,928
通院・出産	2,247	2,135	2,014
ショッピング	290	264	233
美容院	379	402	345
学校などの行事	2,147	2,137	2,079
カルチャースクール	1,092	970	1,292
仕事	2,005	2,222	2,774
その他	1,566	1,613	1,413
合計	12,586	13,284	14,078

## ②-3 緊急一時保育奉仕員（保育課）

表8-6 緊急一時保育奉仕員の人数・延べ利用者数

（人、人日）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
保育奉仕員数	2	1	1
延べ利用日数	300	229	303

## 【これまでの成果および平成27年度の実施状況】

品川区の一時預かり事業については、これまで、様々な事業メニューを用意し、対象者・実施施設などの条件の異なるニーズに対応してきました。実績については、年々上昇傾向にあり、平成26年度についてもほとんどの事業メニューで前年度を上回りました。ただし、私立保育園の一時保育については、利用実績の多い園において、平成27年度から公立保育園と同じ利用要件に基づき実施したことから、実績が減となっています。

## 【今後の課題と方向性】

生活支援型一時保育（オアシスルーム）の利便性の向上を図るため、実態と利用者の要望を踏まえて、引き続き内容を検討します。

## (9) 病児保育事業（病児・病後児保育事業）

子ども・子育て支援事業計画

品川区子ども・子育て計画 P.57～P.58参照

### 【現在の取組み】

#### ①病児保育（保育課）

表9-1 病児保育の実施施設数・延べ利用者数 (か所、人日)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
実施施設数	2	2	2
延べ利用者数	691	705	572

#### ②病後児保育（保育課）

表9-2 病後児保育の実施施設数・延べ利用者数 (か所、人日)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
実施施設数	4	4	4
延べ利用者数	1,107	836	829

### 【これまでの成果および平成27年度の実施状況】

病児保育・病後児保育事業については、子どもが病気で保護者がどうしても仕事を休めない場合の就労支援策として実施してきました。実績については、病児保育では平成26年度と比べて大きく減少する結果となりました。病後児保育については、若干減少傾向にあります。

### 【今後の課題と方向性】

子どもが病気で集団保育が困難であり、保護者が仕事を休めない場合の保護者の子育てと就労の両立支援を行うとともに、児童福祉の向上に引き続き努めます。

## (10) 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）

子ども・子育て支援事業計画

### 【現在の取組み】

品川区子ども・子育て計画 P.59参照

#### ①ファミリー・サポート事業（子ども家庭支援課）

表10-1 ファミリー・サポート・センター活動状況

(1) 平塚ファミリー・サポート・センター

(人、件)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
提供会員数	257	255	229
依頼会員数	1,952	2,103	2,386
提供兼依頼会員数	23	21	10
活動件数	2,775	3,299	3,883

(2) 大井ファミリー・サポート・センター

(人、件)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
提供会員数	193	201	207
依頼会員数	1,329	1,521	1,766
提供兼依頼会員数	23	26	26
活動件数	3,873	4,439	4,671

### 【これまでの成果および平成27年度の実施状況】

依頼会員の増加による活動内容のニーズに柔軟に対応すべく、提供会員養成講座の開催により提供会員の獲得に努めてきました。また、ファミリー・サポート・センターの仕組みを区民に周知し、理解を得ることで、地域の相互援助活動の積極的な支援に繋がるよう取り組みました。

### 【今後の課題と方向性】

ファミリー・サポート事業の周知を積極的に行い、提供会員の確保に努めます。

## (11) 妊婦に対して健康診査を実施する事業（妊婦健診）

子ども・子育て支援事業計画

品川区子ども・子育て計画 P.60参照

### 【現在の取組み】

#### ①妊婦健康診査（健康課）

表 11-1 妊婦健康診査（指定医療機関実施）

（枚数）

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
妊婦健康診査 （1 回目受診票）	3,810	3,955	4,086
妊婦健康診査 （2～14 回目受診票）	38,177	38,153	39,230

### 【これまでの成果および平成 27 年度の実施状況】

1 妊娠期間中、妊婦健康診査を 14 回までと、超音波検査 1 回分に対する公費助成を実施しました。

### 【今後の課題と方向性】

母子保健法第 13 条の規定の主旨を踏まえ、妊産婦・乳児の死亡率の低下、流産・早産の防止、母・児童の障害防止などに資することを目的に、必要な妊婦健康診査を実施します。平成 28 年度から子宮頸がん検査 1 回分に対する公費助成を実施します。

## (12) 実費徴収に係る補足給付を行う事業

子ども・子育て支援事業計画

品川区子ども・子育て計画 P.61参照

## (13) 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業

子ども・子育て支援事業計画

品川区子ども・子育て計画 P.61参照

#### 4 幼児期の学校教育・保育の一体的提供および推進体制の確保の内容

品川区子ども・子育て計画 P.62参照

##### 【現在の取組み】

##### ① 幼保一体施設

表4-1 幼保一体施設（年齢区分型）の施設数と定員、園児数（平成28年4月1日現在）

施設数	保育園（0～3歳）		幼稚園（4・5歳）		定員合計	園児数合計 定員
	定員	園児数	定員	園児数		
2	116	125	210	205	326	330

表4-2 幼保一体施設（幼保連携並列型）の施設数と定員、園児数（平成28年4月1日現在）

施設数	保育園（0～5歳）		幼稚園（4・5歳）		定員合計	園児数合計
	定員	園児数	定員	園児数		
3	334	338	207	193	541	531

表4-3 品川区立就学前乳幼児教育施設の施設数と定員、園児数（平成28年4月1日現在）

施設数	保育園（0～2歳）		幼児教育施設（3～5歳）		定員合計	園児数合計
	定員	園児数	定員	園児数		
1	46	46	54	70	100	116

##### ② 認定こども園

表4-4 保育所型認定こども園の施設数と定員、園児数（平成28年4月1日現在）

	施設数	定員		園児数	
		（うち認定こども園枠4・5歳児）		（うち認定こども園枠4・5歳児）	
認定こども園	6	552	585	(50)	(29)
(内訳)					
区立	4	412	457	(40)	(27)
私立	2	140	128	(10)	(2)

## 第6章 計画の推進

品川区子ども・子育て計画 P.64参照

- 1 計画の推進体制
- 2 進捗状況の管理